

【地方】

(第3種郵便物認可)

岩 手 日 日 新 聞

磨いた腕で創作料理

花北青雲高 総合生活科

3年生が保護者感謝会

3年間ありがとう。花巻市石鳥谷町の県立花北青雲高校(小原和雄校長、生徒491人)で28日、総合生活科3年生の保護者感謝会が開かれた。卒業を間近に控えた生徒が保護者に対し、学習成果を披露することも、これまでの支援に感謝の気持ちを伝えた。

使った料理を振る舞った。「かつらむき大根の奉書巻き清まし汁」「南部鮭と旬野菜の和風グラタン」「県産鶏肉と野菜の甘酢あんかけ」など。磨いた腕前で心を込めてオリジナル料理を作った。

10年ほど前から開かれている同科の恒例行事で、3年生39人が企画、運営を担当。児童・高齢者福祉、地域生活・文化の両コースの生徒がそれぞれ3年間の学習成果を紹介したほか、被災地大槌町での復興支援活動報告、最後に保護者に宛てた感謝カードを手渡した。

デザートには石鳥谷産のリンゴと北上市産の桑茶をアレンジしたオリジナルの「桑っふるシフォン」。参加した保護者らは「とてもおいしい」「家でも作ってもらいたい」「このままでも商品になる」と感嘆の声を上げ、3年間の成長ぶりを料理からも確かめた。

このうち地域・文化コースは「料理によるもてなし」と題し、県産食材

県産食材を使った料理でもてなす花北青雲高総合生活科の保護者感謝会



聞かせやパネルシアター、パープサートを披露

卒業後は管理栄養士を目指して大学に進学する

露。将来、保育士、看護師などを目指す生徒が保護者らの前で堂々と発表し、目を熱くする姿もあった。

菊池さくらさんは「これまで恥ずかしくて言えなかったが、こういう形で感謝していることを伝えられてよかった。今後は目標をかまえ、親孝行したい」を目を輝かせた。母親の幸子さんは「感動で胸がいっぱいになった」とし、新たな道での頑張りに期待した。